

Tシャツプリントのお取扱い

印刷面は非常にデリケートです。

下記の注意事項をご理解の上、お取り扱いをお願いいたします。

洗濯時の注意：



※ドライクリーニングは避けてください。

- 洗濯後、濡れたままの状態で放置してしまうと、プリント同士がくっついてしまい、剥がれやすくなってしまいます。また、転写シートの接着剤はポリウレタン配合の成分のため、徐々に加水分解（ひび割れ）を引き起こし剥離してしまいます。強力な洗濯剤での【つけ置き】は避けてください。
- Tシャツを裏返して洗濯ネットに入れ、洗うことにより印刷面の摩擦を軽減し劣化を抑えられます。洗濯ネットに入れることなく大量の洗濯物と一緒に洗った場合、他の洗濯物に絡まってプリント部分が大きく引っ張られ破損（ひび割れ）してしまうことがあります。
- すでにプリントが剥がれかかっているTシャツの場合、慎重に洗っても劣化が進んでしまうことがあります。
- 白インク（白版）を使用した布地は、洗濯の際にプリント部分が剥がれないように予め生地に特殊な前処理剤を使用します。また、プリント後に表面を加熱処理することで更に密着性を向上させます。前処理剤の影響で生地の性質によっては一部が変色したように見える場合がございますが、洗濯をして頂くことで解消されます。
※稀に生地の性質上、解消されない事もあります。予めご理解いただけますようお願いいたします。

アイロン使用時の注意：



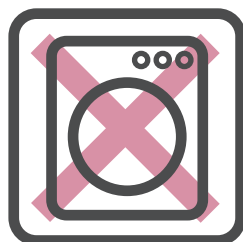
- 転写シートを使用してプリントしているタイプのTシャツは、アイロンで再度熱を使って圧着することにより修復できることがあります。ただし、これは剥がれた部分に接着剤の成分（ポリウレタン）が残っている場合に限り有効です。アイロンを使って接着する場合は、必ず当て布をしてください。ハンカチやクッキングシートなどが使えます。当て布をせずにアイロンをご使用になると、インクが溶けてアイロンに色が移ってしまう恐れがあります。
※ひび割れ等の修復はいかなる方法でも修復できません。予めご了承ください。

※転写シートの印刷面を折り込むと「折りシワ」がつかます。
その際は上記の注意点に添ってアイロンを掛けてください。

※特にスチームアイロンの高熱なスチームは、シールを瞬時に溶かしてしまいます。絶対にやらないでください。

- アイロンの温度は「中」に設定し、少しずつ位置をずらして押し当てて圧着してください。部分的にアイロンを当てるとそこだけ色が変わってしまうことがあるので、プリントが剥がれていない部分も含めて全体的に行うようにしてください。念のため、目立たない場所から始めて問題がなければ全体的に行ってください。なお、長時間アイロンを当てますと、その部分の色が濃くなることがあります。色むらがないように注意してください。

乾燥時の注意：



※プリントTシャツに乾燥機を使うのはおすすりできません。

※特にコインランドリーは高温な為、絶対に使用しないでください。

※同様にハンドドライヤーでの乾燥は、絶対にしないでください。

※熱風で乾燥させるタイプの乾燥機の場合、プリント部分が大きく劣化、もしくは剥離してしまう可能性が大きいです。